



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.



©エアードライブ

札幌市中央図書館

所蔵資料特別展

松浦武四郎 北への拓殖

蝦夷地を六回調査し、北海道の名付け親として
今日まで語り継がれる松浦武四郎。

今回、北海道命名一五〇年、松浦武四郎生誕二〇〇年を記念して、
中央図書館が所蔵する、自筆史料を含む
貴重な松浦武四郎資料を一挙公開します。

開催期間

平成30年
10/11
October

平成30年
12/11
December

平日 8:45~20:00
(休館日は17:00まで)

土日祝 8:45~17:00

会場 札幌市中央図書館 1階展示室

主催 札幌市中央図書館 ☎ 011-512-7355

講演会

松浦武四郎と北海道

講師 北海道博物館 学芸員 三浦 泰之氏

日時 平成30年11月24日(土) 13:30~16:00(開場13:00)

会場 札幌市中央図書館 3階講堂 申込 不要(先着120名 当日直接会場へお越しください)

展示・講演会のお問い合わせ先 札幌市コールセンター(年中無休8:00~21:00)

TEL.011-222-4894 FAX.011-221-4894

Eメール info4894@city.sapporo.jp



松浦武四郎肖像写真 写真提供:三重県松坂市 松浦武四郎記念館

展 示 概 要

松浦武四郎は、蝦夷地を6回調査し、そこで見た風景や動植物を描写し、“多気志桜物”と呼ばれる日誌類に書き起こすことで、当時まだ知られていなかった蝦夷地内陸部の様子やアイヌ民族の生活を庶民に広めました。

また、蝦夷地に代わる名称として、「北加伊道」を含めた6案を提出し、国郡の名称や境界についての意見書を政府に提出したことで、“北海道の名付け親”とも呼ばれるようになりました。

今回は、中央図書館が所蔵する貴重書を中心に展示し、松浦武四郎の人生とその功績をご紹介します。

松 浦 武 四 郎 年 表

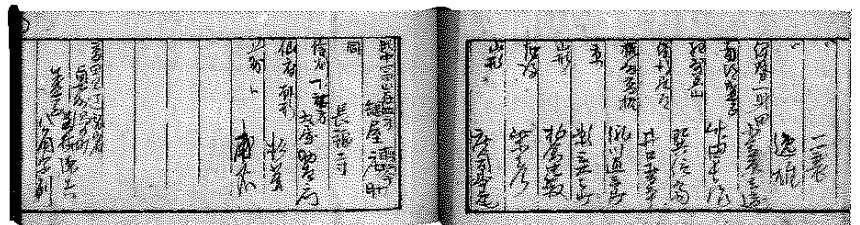
年 代		年齢	松浦武四郎
西暦	和暦		
1818	文政元		松浦時春（桂介）の三男（第4子）として誕生
1830	文政13	13	儒学者・平松楽斎の塾に入る
1833	天保4	16	手紙を残して家出するが連れ戻される
1834	天保5	17	諸国を巡る旅へ
1838	天保9	21	長崎で疫病にかかり、出家して僧侶に
1843	天保14	26	ロシアが迫っていることを知り蝦夷地調査を決意
1845	弘化2	28	第1回蝦夷地調査
1846	弘化3	29	第2回蝦夷地調査
1849	嘉永2	32	第3回蝦夷地調査
1850	嘉永3	33	蝦夷日誌などの執筆に専念
1855	安政2	38	幕府の御雇となる
1856	安政3	39	第4回蝦夷地調査、病に倒れて死を覚悟
1857	安政4	40	第5回蝦夷地調査
1858	安政5	41	第6回蝦夷地調査
1859	安政6	42	結婚、『東西蝦夷山川地理取調図』出版
1861	万延2 文久元	44	出版物が“多気志桜物”として流行
1869	明治2	52	道名として「北加伊道」を含む6案を政府に提出、開拓判官となる
1870	明治3	53	開拓判官を辞職
1873	明治6	56	東京神田へ引越す
1875	明治8	58	北野天満宮などに大神鏡を奉納
1879	明治12	62	妻とともに関西地方を巡る
1880	明治13	63	吉野から熊野までの霊場を巡る“大峯奥駈修行”を果たす
1885	明治18	68	第1回大台ヶ原登山
1886	明治19	69	第2回大台ヶ原登山、一疊敷が完成
1887	明治20	70	第3回大台ヶ原登山、富士山登頂
1888	明治21	71	自宅にて逝去、大台ヶ原に分骨碑が建つ



『蝦夷漫画』(安政6年)



『北海道国郡図』(明治2年)



『松浦武四郎自筆史料 交友名簿帳』(嘉永2年頃)

アクセス

札幌市中央図書館

札幌市中央区南22条西13丁目
市電「中央図書館前」下車

SAPP
RO



さっぽろ市
02-S03-18-1463
30-2-667

